

経済産業省がオンライン動画学習サービス「schoo（スクー）」とコンテンツで連携 “クールジャパン”を徹底議論する、無料のオンライン生放送授業を開講

インターネット生放送を活用したコミュニケーション型動画学習サービス「schoo（スクー）WEB-campus」を運営する株式会社スクー(本社:東京都渋谷区、代表取締役:森健志郎、以下スクー)は、経済産業省 商務情報政策局 メディア・コンテンツ課と共同で「クールジャパンの現場に迫る」をテーマとした議論型授業を、2015 年 1 月 11 日 (日) 20 時より、生放送で開講する。オンラインで繰り広げられる議論には、スクー上のチャットを通じて、だれでも無料で参加することが可能。



■ ベンチャー企業経営者などが徹底議論、ファシリテーターは津田大介氏

経済産業省 商務情報政策局 メディア・コンテンツ課は、実際の現場で“クールジャパン”が、どのように実施されているのか？日本企業が今後も世界で戦い続けるためには何が必要なのか？といったことを有識者と一緒に議論できる授業を、スクーにて開講する。同社のコミュニケーション型動画学習サービスの強みを活かして、生放送中は、受講者である国民たちの声をリアルタイムに集める。ファシリテーターとなるのは、メディア・アクティビストの津田大介氏。

カリキュラムは1限目・2限目の2部構成で、1限目では、経産省メディア・コンテンツ課 係長をはじめ、日本のコンテンツを使用した海外進出の支援を行う J-LOP 事務局次長、さらにはベンチャー企業経営者やマクロエコノミストなどの有識者が、日本企業のグローバル展開のこれからについて議論を行う。続く2限目では、実際に日本のコンテンツを利用して海外進出プロジェクトを行った担当者が登場し、ファシリテーターの津田大介氏との公開インタビューを

行う。

2015年1月11日(日)

緊急生放送!“クールジャパン”の現場に迫る!

【1限目】徹底議論!世界に挑む日本企業とこれから(20:00~21:00)

【2限目】日本発コンテンツビジネスに学ぶ、世界進出から見たもの(21:20~22:20)

https://schoo.jp/campaign/2015/cool_japan



※ 生放送授業の受講には「スクー」への登録(無料)が必要です

schoo(スクー)代表の森は「日本人が自分の意見で議論するための手法を学ぶ機会は少ない。グローバルで戦っていける人材を養成するためにも、こうしたディスカッションのスキルが身につく思考の場を提供したいと考えていた。誰もが聞いたことのある“クールジャパン”というキーワードは、今の日本人の共通話題。日本だけでなく世界で通用する、ディスカッション人材を育てるのが狙い」と話す。

■ 生放送で議論に参加する、12人の先生

1限目「徹底議論!世界に挑む日本企業とこれから」に登壇する先生は、以下のとおり。

ファシリテーター:津田大介

学生代表(進行アシスタント):松澤千晶

論客：

板橋優樹（経産省メディア・コンテンツ課 係長）

槇田寿文（特定非営利活動法人 映像産業振興機構 事務局次長）

長井延裕（クールジャパン機構 エグゼクティブディレクター）

崔真淑（マクロエコノミスト）

日下部祐介（スマートエデュケーション CFO/取締役）

杉浦太一（株式会社 CINRA 代表取締役）

1 限目では、国の支援をしている／されている立場、現場で海外展開を進める立場、世界で活躍できるクリエイターを育てる立場、世界の経済的動向をみる立場など、それぞれの視点から、現状の日本や政策などについて建設的な議論を行い、受講生からの自由な疑問などに答えていく。

2 限目「日本発コンテンツビジネスに学ぶ、世界進出から見えたもの」に登壇する先生は以下のとおり。

一色淳之介（株式会社 F1 メディア 取締役）

外川明宏（株式会社 トーハン 海外事業部 マネジャー）

2 限目では、日本のコンテンツの海外発信・展開を支援する「ジャパン・コンテンツ ローカライズ&プロモーション支援助成金（J-LOP）」を活用し、海外進出を行ったプロジェクトを具体的に紹介。海外展開を行うにあたっての戦術や、日本企業に必要なマインドについて話し、オンラインの受講生からもリアルタイムで意見を受け付けていく。

■ schoo WEB-campus とは? <http://schoo.jp/>

株式会社スクーが運営する、「インターネット生放送」を活用した**実名制リアルタイム動画学習サービス**。現在約 12 万人の会員を抱え、過去 2 年間で 1500 以上の授業をオンライン上で無料開講してきた。録画を“見るだけ”の e-ラーニングと違って、受講生や先生との

『コミュニケーションが生まれる』ことが特徴。年齢・住まい・職業等、異なる背景や価値観を持っている人達が、学びを軸にリアルタイムコミュニケーションを楽しみ、共に『終わらない学生生活』を満喫する。

The screenshot shows a Zoom meeting interface. The main window displays a presentation slide titled "【東京大学 i.school 人間中心イノベーション概論】 1 限目：イノベーション創出における基礎と方法". The slide content includes a diagram with "IDEA" at the top, "APP" in the middle, and "人" (Human) at the bottom, with arrows indicating a flow. To the right of the diagram, there are three sections: "技術中心アプローチ" (Technology-centered approach), "需要中心アプローチ" (Demand-centered approach), and "人間中心アプローチ" (Human-centered approach). The chat window on the right contains several messages, such as "デメリット：奇抜なアイデアが出にくい" and "メリット：スゴサが解りやすい". The bottom of the screen shows Zoom controls like "同時投稿OFF" and "マイクOFF".

■ 会社概要：株式会社スクー

会社名：株式会社スクー

事業内容：「WEB に誕生した、学校の新しいカタチ」 schoo WEB-campus の運営

資本金：1 億 7300 万円（資本準備金含む）

設立日：2011 年 10 月 3 日

代表者：森健志郎(代表取締役社長)

主要株主：森健志郎（代表取締役社長）、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ

従業員平均年齢：27 歳



■ 経済産業省・担当

経済産業省商務情報政策局 メディア・コンテンツ課

■ 取材・プレスリリースにつきまして

代表へのインタビュー、当日の現場取材など、喜んでお受けいたします。

取材に関しては、下記までご連絡ください。

info@schoo.jp / TEL:03-6455-1680 (担当:田中)